

本機は MQA (Master Quality Authenticated) 技術を搭載しており、MQA 音源を、スタジオのマスター・クオリティと同じ品質で再生することができます。



### MQA 音源をデコードする 「MQA Decoding」

MQA 音源をマスター・クオリティの音質で再生するには、デコード\*する必要があります。以下の手順で本機の MQA デコード機能の「On」/「Off」を切り換えてください。

• 初期の設定は「Off」です。

\*：一定の方式に基づいて符号化（エンコード）されたデータを、元のデータに復元・復号することをデコードといいます。

#### 1 表示窓に「MQA Decoding」が表示されるまで [RE-MASTER] を押したままにする（約 2 秒）

- 「MQA Decoding : On」と表示され、MQA デコード機能が「On」になります。
- MQA デコード機能が「On」のときは、本機のダイレクトモード、リ・マスターの機能は「Off」になります。
- 「MQA Decoding」は、本機の設定画面（SETUP）からも設定できます。
- もう一度 [RE-MASTER] を押したまま（約 2 秒）にすると、MQA デコード機能が「Off」になります。

#### 2 MQA 音源を再生する

- デジタル音声の入カソースで MQA 音源の再生が可能です。（入カソースの種類については、お使いの Technics 機器の取扱説明書をご確認ください。）
- 再生している MQA 音源の情報を表示窓に表示できます。（表示されない場合は、[INFO] を数回押してください。）
- [INFO] を押したまま（約 2 秒）にすると、MQA デコード機能などの本機の設定内容が表示窓に表示されます。

#### お知らせ

- 「MQA」「MQA Studio」という表示は、本機が MQA 音源をデコードし再生する音声が、ソース情報と同一であることを示しています。「MQA Studio」という表示は、本機が再生する音声が、アーティスト/プロデューサーによってスタジオで承認された、または著作権者によって承認された MQA Studio 音源であることを示しています。
- 接続したデジタル再生機器の出力設定によっては、MQA 音源をマスター・クオリティの音質で再生できない場合があります。詳しくは、再生機器の取扱説明書をご確認ください。Technics 機器については、下記のサイトをご確認ください。  
[jp.technics.com/support/](http://jp.technics.com/support/)
- MQA 音源以外の音声を再生するときは、MQA デコード機能を「Off」にしてください。
- ダイレクトモード、リ・マスター機能を「On」にすると、MQA デコード機能は「Off」になります。（ダイレクトモード、リ・マスターの機能については、お使いの Technics 機器の取扱説明書をご確認ください。）
- MQA デコード機能を「On」にすると、「D.Output fs」は「32kHz-192kHz」に設定されます。（デジタル音声出力の機能がある機種のみ）
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。